

平成28年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成28年12月21日（水）

午前10時から

場 所 茂原市役所502会議室

出席者 委 員 16名

西條委員、久我委員、大木委員、木嶋委員、古市委員、土屋委員、
田中委員、米川委員、中村委員、岡崎委員（代理：辻内）、田邊委員（代理：重條）
豊田委員、野島委員、鶴岡委員、石和田委員、森川委員

事務局 4名

都市計画課 河野課長、白井補佐、大橋係長、紺野

会議内容（進行：白井補佐）

1 開会 午前10時

要綱第7条第2項に基づき、出席委員16名で過半数に達しており会議成立。

2 会長あいさつ

3 議事

要綱第7条第1項に基づき、会長が議長となる。

(1) デマンド交通「ふれあい」・茂原市市民バス「モバス」の利用状況について 事務局より利用状況等について報告。

委 員：（デマンド交通で）新治地区の人や女性の利用者が増えた理由は。

事務局：直接利用者へ調査していないので明確にお答えできない。ただ、PR等で特段のことは実施していないにも関わらず増加しているので、口コミ等で徐々に周知されてきたと考えている。今後利用者へのアンケート調査を実施する予定でいるので、詳細に分析していく。

委 員：市民バスも増加しているが、目標値（約1万4千人）には届いていない。
目標値の根拠は。

事務局：茂原市地域公共交通計画において、目標を定めており、市民バスの利用者数については、H23年度の数値を基準値として、1日80人を推計値として出している。詳細につきまして、このあとの議案でご説明いたします。

採決の結果、賛成多数により承認。

(2) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について

事務局より事業評価を説明。

委員：目標には達成していないが、全体的に改善の傾向が見受けられるので評価は妥当である。

委員：利用者数等の目標年度はいつなのか。施策は計画的に実施するべきであり、達成年度等の期間を定めていないと効果は出てこない。利用者は増加しているが、目標値は修正するのか。

事務局：修正する予定であります。詳細につきましては次の議案で説明いたします。

採決の結果、賛成多数により承認。

- (3) 運行開始後3年経過に伴う目標達成度の評価・検証及び今後のスケジュールについて事務局より目標達成度の評価・検証及び今後のスケジュールについて説明、及び「茂原市地域公共交通計画」策定時に委員であった日本大学理工学部 藤井教授を次回の公共交通会議から委員として委嘱することを提案。

委員：目標値を算定するにあたり、H23年度の利用者で割る意味は。

事務局：計画策定時はH24年度だったため、直近の実績であるH23年度(16,249人)を基準として、H18年度(21,552人)を目標としている。

委員：H18年度の人口は。

事務局：資料がないのでわからないが、H17年度は93,260人、H22年度は93,015人でほぼ横ばいで推移しています。

委員：約1.3倍もの目標値を設定しているようだが、新たな企業が誘致されたとか外部要因となるものがないと、バス利用者のはのびない。

事務局：市民バスの乗車数の推移をみると、運行当初から増加傾向があったが、H18年度に財政健全化等で運賃を100円から200円へ値上げをした影響により、減少となった。アンケート調査等で分析した中で、目標値の設定についても課題の一つとして提案していく。

委員：高齢者の割合の変化・分析は。

事務局：H22年度は22,490人で24.3%、H28年度12月時点では27,769人で30.5%となっており、割合は増えている。

委員：利用者は増えると想定していいか。周知方法についてはこれまでと同じか。

事務局：新たなPR施策等についてもこれから検討していきたい。

委員：目標値の設定について、推計値から算出するのは難しい。現状の利用者の実態を分析したなかで、地域毎の高齢化率や男女比の割合等も加味した上で、どの地域でどのような需要があるか導きだせるアンケートを実施してもらいたい。それに基づいて目標値を設定してほしい。

事務局：地域によるニーズの把握等、いただいたご意見を網羅するようなアンケート調査や分析をしていく。

採決の結果、賛成多数により承認。

(4) その他

「民間路線の休止に係る対応等について」説明

委員：茂原の市民バスが上永吉まで繋がると民間バス路線に影響がでる。長南町の協議会でも協議しているが、「ひめはるの里」等での連携を提案している。長南町から東京駅への高速バスが運行しているが、路線バスに乗り継いでもらって「ひめはるの里」まで行ければ、観光の目玉になるのではないかと考えている。

今までは上永吉眼科までの利用者がいたが、人口は減少しており、車での利用も増え、運行補助がないと維持することが大変困難となった。茂原駅から上永吉までは、路線バスだと 260 円、市民バスだと 200 円であり、市民バスの運行経路は複雑で時間はかかっているが、60 円の運賃格差は大きい。

事務局：(接続調整する乗降場所については) 今後検討させていただく。運賃格差の問題もあるので、事業者や長南町とも連携を図りながら、新しい運行に向け協議していく。

委員：最初から接続する方向で進めていたのか。市民バスで運行するのだから、茂原市民がどれだけ利用(需要)があるのか。必要性はあるのか。

事務局：資料にある利用実績は、ほぼ茂原市内の利用者である。休止となると影響(必要性)があるから運行を計画している。10 月からの運行は、あくまでも検討の範囲内なので、利用実態を注視しながら対応を協議していきたい。

委員：当路線については、今後利用者の動向を注視してほしい。利用実態を分析したうえで、これからの運行計画の見直しに反映してほしい。

委員：3者(小湊、長南町、市)で今後も話し合いを重ねていただきたい。市民の利益となるように調整を図っていただきたい。

採決の結果、賛成多数により承認。

議長解任

4 2台目の更新車両について、デザイン及び車種等について報告。

委員：燃費は。

委員：普通のバスで、リッター3 km程度である。

事務局：正確な資料がないので後日回答いたします。

5 事務局より前回の会議概要について訂正等があれば1月6日(金)までの連絡を依頼。また、次回の会議開催時期について、3月29日頃を予定していることを連絡。

6 閉会 午前11時30分